

1 東京都中央卸売市場(平成25年1～5月計)の青果物取扱高について

- ①全体の入荷量は82.5万トン(前年比102%, 平年比101%), 金額は2,027億円(前年比91%, 平年比96%)となった。
- ②茨城産の入荷量は9万4千トン(前年比106%, 平年比102%), 金額は192億円(前年比92%, 平年90%)となった。
- ③千葉産の入荷量は10万6千トン(前年比100%, 平年比95%), 金額は181億円(前年比86%, 平年比91%)となった。

単位:t, 百万円, %

		市場計			茨城			千葉		
		1～5月計	年間計	年間比	1～5月計	年間計	年間比	1～5月計	年間計	年間比
数量	H25	825,134			94,403	←シェア(11.4%)		106,320	←シェア(12.9%)	
	H24	808,057	2,045,526	39.5	88,976	223,562	39.8	106,592	228,981	46.6
	前年比	(102)			(106)			(100)		
	平年値※	820,324	2,065,617	39.7	92,143	232,431	39.6	112,269	237,615	47.2
	平年比	(101)			(102)	シェア(11.2%)		(95)		
金額	H25	202,684			19,182	←シェア(9.5%)		18,113	←シェア(8.9%)	
	H24	222,358	511,249	43.5	20,796	47,837	43.5	21,006	43,230	48.6
	前年比	(91)			(92)			(86)		
	平年値※	211,388	508,736	41.6	21,347	51,392	41.5	19,916	43,006	46.3
	平年比	(96)			(90)	シェア(10.1%)		(91)		

※平年値は平成19,20,21,22,24年の5ヵ年平均です。 【参考】 平成24年実績 茨城県 : 金額シェア(9.4%), 数量シェア(10.9%)
1～12月計 千葉県 : 金額シェア(8.5%), 数量シェア(11.2%)

【参考】5月のみ

・連休中から全体的に例年よりも注引量が少ない状況が続き、連休が明けても、連休中の荷動きの悪さから各品目の価格は低迷した。消費が伸び悩んだ理由としては、連休の合間の天候が悪く客足が伸びなかったこと、また連休明けには消費者が節約傾向にあったことなど複数要因が考えられる。特に野菜価格は市場全体で192円/kg、茨城は162円/kgとなり、市場全体の5月の野菜価格としては過去10年で最も低い値となった。

単位:t, 百万円, %

5月		市場計			茨城			千葉		
		野菜+果物	野菜	果物	野菜+果物	野菜	果物	野菜+果物	野菜	果物
数量	H25	175,139	145,709	29,430	25,185	22,067	3,118	27,266	26,260	1,007
	H24	176,023	146,990	29,034	22,795	20,153	2,642	27,223	26,769	454
	(前年比)	(99)	(99)	(101)	(110)	(109)	(118)	(100)	(98)	(222)
	平年値※	172,092	140,784	31,308	24,677	21,111	3,566	27,667	26,694	974
	(平年比)	(102)	(103)	(94)	(102)	(105)	(87)	(99)	(98)	(103)
金額	H25	38,502	27,997	10,505	4,799	3,585	1,214	3,640	3,335	305
	H24	43,030	32,326	10,704	4,970	3,876	1,094	4,385	4,199	186
	(前年比)	(89)	(87)	(98)	(97)	(93)	(111)	(83)	(79)	(164)
	平年値※	41,884	30,713	11,172	5,600	4,186	1,414	4,412	4,112	300
	(平年比)	(92)	(91)	(94)	(86)	(86)	(86)	(83)	(81)	(102)

2 東京都中央卸売市場(平成25年5月単月)の茨城産青果物主要品目の取扱高

野菜類の入荷量は2万2千トン(前年比109.5%, 平年比104.5%), 単価は162円/kg(前年比84.4%, 平年比81.8%)。果実類の入荷量は3,118トン(前年比118%, 平年比91%), 単価は389円/kg(前年比94%, 平年比96.5%)。

	品目	数量 t		単価 円/kg			金額 千円				
		前年比%	平年比%	前年比%	平年比%	平年比% (全国)	前年比%	平年比%			
野菜	はくさい	6,282	95.3	107.4	36	63.2	61.0	61.7	228,577	61.3	65.8
	レタス	2,407	114.6	101.5	124	87.3	86.1	84.5	298,338	99.7	87.2
	ピーマン	1,972	100.6	98.2	275	83.8	83.3	87.2	541,339	84.2	81.7
	キャベツ類	1,687	138.7	100.1	62	55.1	63.1	66.3	104,277	76.5	63.2
	ねぎ	1,275	109.4	93.9	360	95.2	94.2	88.3	459,580	104.2	88.6
	トマト	976	135.1	97.8	230	69.7	79.9	84.1	224,540	94.1	78.2
	野菜類計	22,067	109.5	104.5	162	84.4	81.8	88.1	3,585,167	92.5	85.7
	メロン類	2,222	132.6	89.1	386	91.6	94.8	96.9	857,292	121.4	84.4
	果実類計	3,118	118.0	87.4	389	94.0	96.5	100.0	1,213,716	111.0	85.8

※平年値は平成19,20,21,22,24年の5カ年平均です。

- ・はくさい 本県産数量は前年比95%、市場全体も前年比94%と多くはなかったが、連休明けも量販店からの注文は少なく、需要が伸び悩んだ。単価は大幅に低下し、金額は前年比61%となった。
 - ・レタス 本県産数量は前年比115%、価格は124円/kg(前年比87%)と安かった。また、競合する長野では低温等の影響により5月当初の品質低下が見られ価格が112円/kgになるなど、市場全体の価格も120円/kgと本県より更に安い状況だった。
 - ・ピーマン 数量は平年並だが、価格は前年比、平年比とも83%と低迷している。5月上旬、今後の売り場確保・拡大のために、価格を下げての販売を行うなどしたが、中旬、下旬と更に価格は下がった。今後も販売苦戦が懸念される。
 - ・キャベツ類 数量は前年に比べると多かったが平年並。5月中・下旬に価格が大幅に下がり、金額は前年比76.5%となった。
 - ・ねぎ 数量は前年よりやや多かったが、数量、価格とも平年比を下回り、5月の金額は前年比88.6%となった。
 - ・トマト 今年黄化葉巻病の影響も少なく数量は前年比135.1%。特に数量の多かった下旬は価格が下がり、前年比69.7%となった。
- ※その他、本県産に限らず5月は野菜の販売が苦戦。市場内も客が少なく、各品目残荷が目立った。
- ・メロン類 数量は、低温と日照不足により少なかった前年に比べると多く、前年比133%、平年比は89.1%。価格は前年比91.6%。5月上旬の販売は他県産も含めて苦戦し、末端消費が鈍く、残荷の無いように何とか動かしている状態が続いた。その後も、量販店では1個玉の売れ行きが芳しくなく、1/4カットやカップ入りなど、食べごろ・適量かつ1商品単位の価格を下げた形での販売が見られた。下旬にはネット系メロンの数量が少なくなり、卸、仲卸からも不足の声が聞かれた。価格は5月下旬には平年並となったが、5月の金額は前年比85.7%であった。